

📢 もーん父さん これからの予定

今秋も、もーん父さんが博物館 PR のためおでかけします。みなさまのご来場お待ちしております。

☆11/3(㊥) 10:00 ～ 15:00 秋の芝広場まつり 於 いいづなアップルミュージアム芝広場

☆11/21(㊤)、22(㊦) 10:00 ～ 15:00 世界キャラクターサミットin 羽生2026
於 羽生市役所&羽生平和公園

■ これからのイベント情報

晩秋の下部温泉郷と一緒に歴史散策しませんか？

第6回 シン・サンポ ～下部温泉郷 編～

今回は、下部温泉の開湯伝説や武田信玄の隠し湯伝説誕生秘話、日蓮上人や穴山梅雪、徳川家康など歴史上の人物の関りを紹介します。また、高浜虚子や若山牧水、井伏鱒二、石原裕次郎など近代の著名人の足跡やアニメ「ゆるキャン△」のモデル地も訪ね、風情あふれる温泉街を巡ります。下部温泉の知られざる魅力を再発見する絶好の機会です。みなさまのご参加お待ちしております。

【日 時】 2026年11月22日(日) 午前9時～正午(午前8時45分～受付)
※小雨決行。下部温泉郷内、全行程約2kmのコースを歩きます

【集 合】 湯之奥金山博物館

【定 員】 先着20名 ※要事前申込。定員になり次第、締め切り

【参加費】 無料

【持ち物】 歩きやすい服装・靴・飲み物・雨具・タオル等

【お申込】 2026年11月1日(日) ～ 11月21日(土)
お電話(0556-36-0015)にて承ります

☆なお、本イベント参加者は、当日に限り、展示観覧無料・
砂金採り体験1割引でご利用いただけます☆



編 | 集 | 後 | 記

今夏も、たくさんの人でにぎわった博物館。7月から9月の3か月間で1万人を超えるお客様にご利用いただきました。リピート来館の方も増えており、校外学習で利用後にお子さんがご家族を連れて再来館してくれることもしばしば。ありがとうございます。

さて、博物館周辺はいよいよ秋・冬シーズンに移り変わっていきます。10月に入ってから良いお天気が続いていますが、当館は山がちな立地なので、この時期から日照時間が極端に短くなっていきます。そのため、周辺よりも体感温度が低くなります。ご来館の際は、羽織るものを1枚お持ちいただくと安心です。文化の秋、みなさまのご利用を心よりお待ちしております。(編集K&I)

甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館だより

第116号

令和8(2026)年10月16日

発行 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館
〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先
TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
博物館HP▶<https://www.town.minobu.lg.jp/site/kinzan/>
E-mail▶yunoking@town.minobu.lg.jp もーん父さん▶X & Facebook



甲斐黄金村・ 湯之奥金山博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡一中山金山

No.116

2026.10.16



常設展示パネルが更新されています もうご覧になりましたか？

1997年4月24日に開館した当館は、来年4月に開館30周年を迎えます。戦国期の鉱山作業をテーマに、湯之奥金山の歴史を紹介する当館の展示は、湯之奥・中山金山で実施された総合学術調査(1989-1991)を基礎としています。当時は鉱山に関する研究事例が少なく、調査成果を主軸に、限られた情報をもとに展示を構成しました。

その後、鉱山史の調査研究は着実に進み、新知見の積み重ねに伴い、展示パネルの内容にも現在の見解と異なる部分が出てきました。そこで本年、常設展示パネル更新のベストタイミングとし、最新の調査研究情報とこれまでの研究成果を盛り込むことで、展示内容をより充実させました。初めての方はもちろん、再来館の方にも楽しんでいただける学術情報が盛りだくさんです。ぜひお越しください。

すじを曲げない曲淵莊左衛門吉景

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 信藤祐仁

曲淵莊左衛門吉景の出自

山梨県中巨摩郡昭和町押越の小字に「曲淵（まがりぶち）」がある。「此ノ辺リハ慶安・承応ノ頃マデモ釜無川ノ河涯ニテ流理ノ変数々ナレバ古事存スル者稀ナリ域内ニ大ナル淵アツテ地名トナルト云ヒ伝フ」と『甲斐国志』にあり、釜無川の旧流路にあった淵にその地名は由来する。同書は続けて「甲陽随筆ニ曲淵莊左衛門ハ彼淵ニ棲メル蛇ノ子ナリト記ス妄談ナリ采ルニ足ラズ」とある。この地を拠点として屋敷を構えていた曲淵吉景は、戦国時代に武田信虎・信玄・勝頼及び武田家滅亡後に徳川家康に仕えた武将である。武勇に秀いでた上に頑固一徹で知られ、不条理には真っ向から正論をぶつけ、名前とは正反対に曲がったことの許せない性格だったようである。そのため武田家中からは奇人と目され、トラブルメーカーとして評判だった。吉景は四十歳を過ぎたころ七十五度の訴訟を起こし、勝訴1回、和解1回のみで、他はすべて敗訴となっている。



昭和町押越の曲淵バス停



曲淵氏一族の墓(北杜市清泰寺)

莊左衛門は永正15年(1518)甲斐国巨摩郡曲淵に生まれ、幼名は「鳥若」。通り名は「莊左衛門」別字で勝左衛門、正左衛門、庄左衛門とも表記される。武田信玄時代に両職(武田家臣最高位)であった板垣信形の草履取りから出世し、数々の武辺の誉れにより信玄の直臣に取り立てられ、板垣家臣団筆頭格で侍大将になっている。信形の亡き後息子の信憲の配下となり、信憲失脚後は山県昌景衆に属している。

のちに武川谷(北杜市)に住し、武田氏滅亡の後剃髪して玄長と称した。本能寺の変の後、旧武田領をめぐる徳川・上杉・北条が争った天正壬午の乱のときには、武川衆とともに家康の麾下に加わり、家康が新府城に着陣の際には拝謁して本領を賜っている。また、若神子にて北条との対陣では、家康の直命により斥候として子正吉と共に戦功をあげ、「武功の者の振廻皆みよ」との言葉を受けている。(『寛忠臣曲淵吉景政重修諸家譜』)

天文十七年(1548)上田原の戦いで板垣信形が討死した後、その嫡男板垣信憲が家督と職を継承する。父と違ってその才覚に欠け世襲した役目も怠った信憲は、信玄から詰問状を突き付けられたうえ長禅寺に幽閉されることとなった。

吉景は信玄に暇を請うて長禅寺に駆け付け、先代信形より受けた恩義を返すため、信憲と起居を共にし懸命に尽くしたとされる。信憲が私怨により本郷八郎左衛門に殺された際には、信玄の内命によるものと詰め寄ったが誤解であることが判明し、信玄はこれを許し返って最後まで忠節を尽くした吉景を評価している。

信玄、吉景を犬猫に例える

『甲陽軍鑑』(品第四十七)によれば、「曲淵という奴は、物の道理を知らぬ奴か。まるで犬のようなものだ。犬が来て花壇を踏み荒らし、杖でもって追えば、自分の狼藉はさしおいて、杖で追う人に鼻に皺を寄せて吠えて退くといえども、鹿や狐狸を襲うとなれば勇猛なのだ」続けて「あの曲淵は手傷も多く既に十か所余り傷跡があると聞く。あのような者が一軍勢の中に一人二人といれば、若い者どもも精進してあのように手柄をたてることになり、主や寄親に怒り散らしても大したことはない、案外優れた侍が多く出てくるものだ」と仰せられる。」

また、曲淵の訴訟に対しては同書中で「例えばネコという獣は、飼い主が誰かを知らずにきれいな炉の中に糞をし、あるいは飼っている鳥を狙うといったいたずら者の獣だが、ネズミを捕るという点では一段と素晴らしい。ネズミは大事なものをもとから破ったり、ふすまや障子の絵を遠慮なく引き破ったりする。そういう時は何としてでも退治したいと思うのだが急には退治することもできず、そこで猫によってことごとく捕り尽くすと、猫のその後のいたずらは忘れてひたすら猫は重宝とばかり思うものだ。」吉景はまるでネコのようなものである。公事(訴訟)を幾度となくおこす厄介者ではあるが、いざ合戦となると勇猛果敢に働き非常に役に立つ、猫がネズミを捕るに等しいと例えている。

武田信玄の人材抜擢、家臣の登用方法の神髄を示している。信玄は「人の使いようは、人を使わず、その技を使うものだ」と言っている。その人間の人が柄がどうであろうと、使うべき技(能

力)があればその人が持つ個性や能力を活かすことこそが大事だと言っている。

氏郷に所望された吉景

武田時代に三河や遠江での合戦で先鋒を務め、徳川方にもその武勇は知られていた。長久手の戦いでは武田家に倣った井伊の赤備え部隊が活躍し吉景の比類なき戦いぶりを賞し、その功によって現在「曲淵兼光」と呼ばれている名刀を家康から直接拝領したという。

後に家康が江戸に入部する際、蒲生氏郷が隣接する会津に入部することになった。氏郷は家康のもとにあいさつに訪れ、家康から必要であれば何なりと申されよとの言葉に、曲淵吉景を所望したいと申し出た。氏郷は「曲淵と申すもの、それがしも兼ねて聞き及んだ剛の者だと聞き及んでいます。これから奥州会津へ下る際に、あのような名高い老功の武士を拙者の馬の先に立てて入国すればさぞあっぱれな壮観となりましょう。彼の者、それがしに賜うことはできませんか」と曲淵をねだったところ、家康は「あの曲淵と申す老人は信玄も秘蔵せし、我らも常々秘蔵し床几近く召し仕えるものなれば片時も離し難きものなり」と言って拒んだという。



本妙寺(曲淵吉景の屋敷跡)

中央山本妙寺

曲淵吉景の出生地で、かつて曲淵氏の屋敷があった。武川谷に移ってからは、この地を老母に譲り妙徳庵と称したという。吉景の法号は「徳本院殿日起大居士」、老母の法号は「妙徳院殿日盛大禅尼」、寛永二年(1625)草庵を再建して寺となし、両人の法号二字にちなんで寺号を本妙寺と改称している。

■ 調査研究活動01 9/10㊦ 資源素材学会 秋季大会 於 福岡工業大学

福岡工業大学で開催された資源素材学会 秋季大会にて、「粉成過程における金粒の形状変化の検討」と題し、小松学芸員が発表しました。今回は、先の茅小屋金山遺跡での発掘調査で採取した揺り滓中の金粒に着目し、金挽臼での粉成作業が金粒の形状にどのような影響を与えたのか、実験結果とともに話しました。会場では自治体職員、大学関係者、資源素材関連の企業担当者など約25人が聴講し、講演の最後には活発な質疑応答がなされました。

■ 活動報告01 常設展示パネル刷新！

このたび、身延町周辺の金山遺跡広域地図と産金形態図、鉱山臼の分類図がリニューアルしました。今回は、赤色の濃淡で尾根や谷地形を示す赤色立体地図が加わり、金山遺跡での採掘跡や作業・居住域のテラス跡など視覚的にとらえやすくなっています。また、新たに「山金・川金・柴金」と題した金の存在状態を示す解説が加わり、鉱山臼(金挽臼)の分類では分類名を修正しました。ご来館の際には、パワーアップした常設展示に注目してご覧ください。

■ 活動報告02 職場体験実習生と博物館実習生がやってきました

夏休み期間中を利用して、身延中学校から3人の中学生が職場体験に、身延山大学・埼玉学園大学から1人ずつ学生が博物館実習にやってきました。当館は砂金採り体験室を併設しており、来館者とコミュニケーションをとる機会が多くあります。初めは緊張の面持ちでしたが、徐々に自ら進んで声掛けや砂金採り体験案内などに取り組んでいました。3日～1週間と短い期間ではありましたが、日々の館運営やイベント実施を通して、特に教育・普及面で学びの収穫が多かったのではないかと思います。



■ 活動報告03 茅小屋金山遺跡発掘調査成果展示バージョンアップ！

前号(No.115)では、3月に実施した茅小屋金山遺跡の発掘調査についてテラス・石造物の写真実測の成果を公開するタッチディスプレイの紹介をしました。来館した多くの方が興味を持って操作しており、好評をいただいています。

そうしたなか、今夏の博物館実習で、調査成果展示がバージョンアップしました。ともに湯之奥金山遺跡調査を行っている金井拓人先生(帝京大学文化財研究所)が受け持つ帝京の諸大学に通う学生6人が来館し、当館と連携で博物館実習を行いました。先の茅小屋金山遺跡調査成果の展示作成を行い、金井先生の指導のもと、実習生は遺跡で見つかった陶磁器や金属製品のなかから展示物を選定したり、遺跡地図・調査写真をレイアウトしたり、文字パネルを掲示したりと、協力し合いながら取り組みを進めていました。完成した展示は、当館1階エントランス(無料)にてご覧いただけます。なんと、茅小屋金山で見つかった金粒(実物)も初公開です！博物館へおいでの際は、ぜひご覧くださいね。



■ 活動報告04 7/25㊤ 湯之奥金山博物館杯 第26回砂金掘り大会

今年も大いに盛り上がった砂金掘り大会。回数を重ねるなか、周知が進み性別問わず参加者の輪が広がっています。小中学生のエントリーからなるジュニア部門では、高畠まりあさん(東京都)が1位に輝きました。一方、高校生以上の男女一般部門では、U-40とアダルトの予選を経て、野村敏郎さん(兵庫県)が決勝戦1位となり部門を制しました。各部門1位同士で今大会の覇者を決める頂上決戦では、ベテランの技をみせ、見事、野村さんが総合優勝しました。



男女一般 (U40) 部門予選 (8or9 粒 /10kg/10 分)

順位	氏 名	粒数	タイム (分.秒)
1	望 月 正 之	9	3.34
2	岡 部 連	8	4.04
3	田 村 浩 章	8	5.08
4	岩 柳 潤 哉	9	5.44
5	中 尾 友 香	8	6.00
6	鳥 丸 紗 央 里	9	6.13
7	柳 田 樺 乃	8	7.02
8	渡 辺 清 人	7	7.04
9	平 口 陸 人	9	7.20
10	中 川 圭 祐	9	7.22
11	平 野 雄 也	9	7.37
12	船 村 尚 起	7	7.54
13	笠 井 宗 二 郎	9	7.55
14	岩 本 真 奈	7	8.08
15	原 聖 陽	8	8.17
16	菅 結 穂	7	8.20
17	西 田 留 美	8	8.32
18	岩 井 秀 人	7	8.36
19	細 川 美 智 子	8	8.55
20	古 賀 未 来 子	8	9.07
21	齋 藤 匠 吾	8	9.11
22	森 田 貴 大	9	9.24
23	大 野 純 史	7	9.43
24	後 藤 穂 香	8	9.47
25	後 藤 結 仁	9	9.51
26	石 部 直 樹	6	9.53
27	小 松 あ き 子	7	9.56
28	銭 谷 清 人	7	10.00

29	足 田 健 人	7	10.00
30	下 陸 航	7	10.04
31	船 橋 秀 男	7	10.13
32	小 暮 宏 幸	8	10.15
33	高 畠 正 雄	8	10.30
34	保 坂 信	6	10.48
35	錦 木 己 太 郎	6	10.53
36	實 石 成 海	7	11.00
37	是 永 恵 子	7	11.15
38	細 川 泰 誠	7	11.26
39	手 塚 雅 之	7	11.26
40	桑 形 和 樹	7	11.33
41	鳥 谷 啓 翔	7	11.39
42	岩 川 宗 一	7	11.47
43	高 橋 倫	7	11.51
44	岩 川 祐 子	7	12.14
45	宮 本 結 菜	7	12.19
46	井 上 温 子	7	12.22
47	三 瓶 舞	6	12.28
48	立 川 梨 佳	8	12.52
49	二 宮 あ ゆ み	6	12.52
50	奥 野 公 子	7	13.00
51	長 純 平	6	13.23
52	深 沢 広 太	6	13.29
53	横 塚 紬	5	13.38
54	戸 上 暖 太	6	13.49
55	山 出 貴 太	6	13.57
56	大 金 千 寿	6	14.01
57	都 筑 亮 佑	7	14.07
58	奥 田 依 織	5	14.20

59	河 口 周 美 佳	5	14.50
60	熊 王 一 貴	7	14.55
61	新 山 孝 二 郎	6	15.10
62	伊 藤 佳 世	5	15.10
63	畑 山 慶 多	5	15.16
64	中 鉢 理 穂	6	15.22
65	中 村 幸 太 郎	5	15.29
66	横 野 祐 大	6	15.33
67	富 永 大 仁	5	15.33
68	長 谷 部 孝	5	15.41
69	諸 井 健	6	15.41
70	穴 沢 知 也	4	15.42
71	川 口 博	7	16.00
72	成 島 秀 樹	5	16.02
73	山 口 慧 士	5	16.09
74	木 崎 拓 真	5	16.16
75	島 田 高 志 朗	6	16.40
76	是 永 聡	6	16.48
77	田 村 夏 輝	4	17.02
78	河 村 亮 佑	5	17.07
79	大 島 一 輝	4	17.23
80	岩 崎 春 樹	5	17.31
81	中 澤 祐 貴	5	17.39
82	原 悠 斗	6	17.44
83	鈴 木 悠 斗	5	18.21
84	村 松 明 登	6	18.38
85	藤 間 貴 紀	4	18.46
86	松 岡 蒼 大	3	18.49
87	林 昇 輝	5	18.56
88	木 村 美 凜	3	19.14

89	気 賀 澤	3	19.16
90	酒 井 伸 太 朗	4	19.59
91	室 幸 四 郎	3	20.09
92	玉 井 悠 人	3	20.15
93	鶴 岡 寛	4	20.42
94	高 橋 未 空 雲	5	21.10
95	工 藤 直 治	4	21.46
96	長 澤 馨	4	22.00
97	鶴 見 祐 人	3	22.30
98	堀 崎 実 太 朗	2	22.56
99	小 暮 恵 梨	2	23.10
100	大 澤 昭 彦	1	23.27
101	山 本 鳳 梨	4	23.31
102	樋 田 晴 真	3	24.23
103	大 岩 洋 也	2	24.30
105	笹 野 颯 人	3	24.44
104	中 村 佳 吾	3	27.18
106	平 方 あ ゆ み	2	27.48
107	佐 藤 裕 治	3	27.56
108	深 澤 花 香	1	29.08
109	伊 坂 瑠 人	2	29.39
110	土 井 健 太 郎	2	30.50
111	堀 浩 樹	0	31.24
112	藤 崎 和 史	1	33.48
113	青 沼 弘 治	0	33.52
114	鹿 島 舞	1	34.00

男女一般 (アダルト) 部門予選 (8or9 粒・10kg/10 分)

順位	氏 名	粒数	タイム (分.秒)
1	平 野 岳	9	4.49
2	石 田 政 明	9	5.47
3	井 村 智 子	8	5.56
4	土 橋 雪 乃	9	6.37
5	牛 島 敏 博	8	6.42
6	野 村 敏 郎	8	8.04
7	佐 藤 悠 紀 子	8	11.47
8	田 中 良 幸	8	8.49
9	露 崎 幸	7	10.15
10	本 間 純	7	10.19
11	伴 尊 行	7	10.25
12	木 村 伸 之	7	10.51
13	星 加 知 宏	7	13.53
14	近 藤 直 美	7	10.56
15	山 本 良 和	8	11.46

16	望 月 康 史	8	12.18
17	羽 斗 健 二	7	12.38
18	山 田 恵 子	6	13.16
19	澤 内 憲 二	6	16.05
20	秋 山 宗 裕	6	16.11
21	望 月 千 代 美	6	17.32
22	和 田 俊 憲	4	18.34
23	小 俣 喜 仁	4	18.44
24	笹 本 恵	4	19.23
25	高 畠 亮 子	4	20.46
26	林 み どり	5	20.59
27	近 藤 幸 二	1	22.37
28	林 謙 治	3	25.20
29	佐 藤 成 人	2	25.39
30	田 中 奈 保 子	2	29.51

※決勝辞退

ジュニア部門 (8 粒 / 6 kg/10 分)

順位	氏 名	粒数	タイム (分.秒)
1	高 畠 ま り あ	8	3.28
2	五 味 暖 博	8	3.58
3	松 村 拓 樹	8	4.08
4	鎌 倉 玄	8	4.43
5	酒 井 文 杜	8	4.48
6	佐 藤 瑠 璃 子	8	5.10
7	綾 野 瑞 希	8	5.20
8	宇 佐 美 夏 月	8	5.24
9	富 田 愛 佳	8	5.32
10	佐 藤 篤 志	8	5.53
11	上 野 日 菜 莉	8	6.09
12	佐 藤 亨 史	7	6.20
13	金 守 翔 夢	8	6.23
14	佐 藤 百 合 子	8	6.26
15	石 垣 昂 太 郎	8	6.31

16	小 谷 日 奈 子	7	6.40
17	後 藤 怜 花	7	7.13
18	安 富 善 進	7	7.20
19	井 口 雄 太	7	7.22
20	戸 田 美 夢	7	7.25
21	松 岡 晃 誠	7	7.40
22	吉 永 紗 和 子	7	7.40
23	内 海 寿 々	7	7.53
24	山 本 新 夏	7	7.55
25	古 畑 友 悠	7	7.57
26	松 本 珠 希	7	7.57
27	藤 原 ひ じ り	7	7.58
28	永 所 大 知	8	8.07
29	中 島 伊 央 利	7	8.09
30	安 齋 碩 毅	8	8.12
31	山 本 葵 馬	7	8.23
32	小 林 那 奈	7	8.33

男女一般部門決勝 (15 粒 /16kg/15 分)

順位	氏 名	粒数	タイム (分.秒)
1	野 村 敏 郎	15	10.49
2	中 尾 友 香	15	11.53
3	柳 田 樺 乃	13	12.11
4	船 村 尚 起	13	15.08
5	牛 島 敏 博	13	15.24
6	岡 部 連	12	15.36
7	鳥 丸 紗 央 里	13	18.47
8	中 川 圭 祐	12	19.49
9	井 村 智 子	12	19.51
10	露 崎 幸	10	21.22

11	平 野 雄 也	11	22.04
12	平 口 陸 人	12	23.53
13	岩 柳 潤 哉	12	23.55
14	佐 藤 悠 紀 子	10	24.22
15	望 月 千 代 美	9	25.30
16	渡 辺 清 人	8	26.13
17	望 月 正 之	7	31.49
18	田 中 良 幸	4	39.30
19	田 村 浩 章	1	48.15
20	平 野 岳	0	49.13

50	青 木 連	7	10.07
51	水 上 敬 介	7	10.08
52	田 代 侑 士	7	10.12
53	谷 山 寛	7	10.21
54	窪 田 迎	7	10.22
55	浅 野 雅 貴	7	10.31
56	亀 岡 瞬	7	10.37
57	秋 澤 優 楓	6	10.43
58	赤 坂 勝 基	6	10.49
59	小 林 千 鶴	7	11.22
60	小 林 靖 弘	5	11.25
61	宮 田 愛 理	6	11.27
62	笹 嶋 介	6	11.34
63	西 田 倫 太 朗	7	11.51
64	小 林 凜 之 介	5	12.02
65	安 岡 明 舞	5	12.06
66	後 藤 真 歩	7	12.08

順位	氏 名	粒数	タイム (分.秒)
67	清水 美咲	5	12.26
68	是永 朝子	5	12.31
69	西川 宗汰	6	12.33
70	岩原 昂平	6	12.33
71	長坂 六花	6	12.34
72	小川 義人	7	12.45
73	川畑 紗良	5	12.46
74	岩間 隆	7	12.49
75	安田 知弘	5	12.52
76	佐藤 尚人	5	13.01
77	尹 瑞哲	6	13.05
78	坂下 蒼空	6	13.12
79	加藤 地大	5	13.19
80	大村 莉央	5	13.23
81	立山 ゆりあ	5	13.39

82	渡邊 花梨	6	13.49
83	川畑 知佳	6	13.50
84	鬼頭 奏羽	5	14.17
85	東田 百花	5	14.25
86	小村 直太郎	5	14.27
87	石井 諒生	6	14.29
88	菅原 爽介	5	14.32
89	堀 隼一郎	5	14.35
90	開 成	6	14.39
91	上羽 滯作	5	14.42
92	幸野 一輝	4	14.50
93	涌上 まひろ	5	14.52
94	大森 翔和	5	15.01
95	荒木 春花	4	15.03
96	笠原 春香	4	15.05
97	近田 翔	5	15.06
98	中川 裕惺	5	15.30

99	可知 正紀	6	15.46
100	河澄 桃陽	6	15.53
101	酒匂 智景	5	16.28
102	加賀 美貴桜	5	16.58
103	上田 悠真	5	16.58
105	吉田 理	4	17.30
104	久松 侑豊	4	17.31
106	平原 尚樹	4	17.37
107	村田 忠謙	5	17.38
108	伊部 昂征	2	21.52
109	望月 さら	3	23.00
110	青沼 慈治	4	23.40
111	伴 悠成	2	23.51
112	高橋 志帆	2	24.21
113	井出 愛佳梨	3	24.55
114	大西 朔太郎	3	25.00
115	森 美惺	1	25.19

頂上決勝

(16粒 /6kg/6分)

順位	氏 名	粒数	タイム (分.秒)
1	野村 敏郎	15	7.48
2	高島 まりあ	10	21.19

■活動報告05 7/26㊤ 砂金甲子園！ 砂金甲子園！ 第23回東西中高交流砂金掘り大会

第1回大会から参加の開成(東京都)や灘(兵庫県)、県内の山梨学院といった常連校に加え、初参加の渋谷教育学園幕張高等学校(千葉県)が加わり、至上最多の14校がエントリー。多数のため、パンニングリレーの団体戦を予選とする初の予選形式で行い、上位12校が個人戦(各校代表5人による試合)へと進みました。砂金甲子園は、団体戦と個人戦のそれぞれで獲得した点数により総合順位が決まります。今大会は神戸女学院中高部(兵庫)が2大会連続の優勝を果たし、1点差で2位に逗子開成中学校・高等学校(神奈川)、3位に桐朋中学校・高等学校(東京)と続きました。当日は約230人の生徒が集まり、大きな声援とともに熱戦が繰り広げられました。



団体戦

(3kg×15/40分/50粒)

順位	校名	採取粒数	総合成績(分)
1	神戸女学院	43粒	60分
2	逗子開成	40粒	64分
3	海城	39粒	72分
4	桐朋	37粒	78分
5	市川学園	36粒	79分
6	聖心女子学院	35粒	82分
7	山梨学院	35粒	84分
8	開成	32粒	94分
9	大妻	25粒	99分
10	麻布	29粒	101分
11	灘	27粒	107分
12	城北	26粒	109分

個人戦(8kg/7分)

先鋒 (9粒 スクエアパン)

	校名	採取粒数	タイム (分.秒)
1	神戸女学院	9	6.03
2	開成	9	6.32
3	逗子開成	8	7.19
4	桐朋	8	8.29
5	城北	8	10.01
6	大妻	7	11.58
7	麻布	7	12.27
8	山梨学院	6	13.09
9	市川学園	5	16.21
10	聖心女子学院	5	17.08
11	灘	4	20.06
12	海城	3	21.47

次鋒 (11粒 タートル君)

	校名	採取粒数	タイム (分.秒)
1	麻布	11	5.09
2	桐朋	11	5.16
3	聖心女子学院	9	10.55
4	逗子開成	9	12.07
5	城北	9	12.13
6	市川学園	9	12.44
7	灘	9	12.51
8	大妻	8	15.23
9	開成	8	15.59
10	神戸女学院	6	21.21
11	山梨学院	5	23.32
12	海城	4	27.55

中堅 (8粒 フィニッシングパン)

	校名	採取粒数	タイム (分.秒)
1	山梨学院	8	6.07
2	逗子開成	7	10
3	開成	6	12.33
4	灘	6	12.56
5	聖心女子学院	4	15.56
6	桐朋	5	16
7	城北	3	19.37
8	海城	3	21.55
9	神戸女学院	3	21.58
10	麻布	1	26.57
11	大妻	0	29.47
12	市川学園	0	30.25

副将 (15粒 スチールパン)

大将 (5粒 ゆり板)

総合順位

	校名	採取粒数	タイム (分.秒)
1	麻布	15	5.5
2	山梨学院	15	6.33
3	神戸女学院	15	6.51
4	灘	15	7
5	開成	13	12.5
6	逗子開成	11	15.53
7	聖心女子学院	10	20.42
8	市川学園	10	21.46
9	海城	9	24.24
10	桐朋	5	36.55
11	大妻	3	39.45
12	城北	3	41.04

	校名	採取粒数	タイム (分.秒)
1	市川学園	4	9.58
2	山梨学院	4	10
3	桐朋	3	11.3
4	城北	3	11.45
5	聖心女子学院	3	11.5
6	海城	3	12.55
7	開成	2	13.47
8	灘	2	15.59
9	神戸女学院	2	17.39
10	逗子開成	1	18.44
11	麻布	0	21.53
12	大妻	0	21.58

順位	校名	団体得点	団体順位	個人得点	個人戦順位	合計得点
1	神戸女学院	30	1	51	6	81
2	逗子開成	25	2	55	4	80
3	桐朋	18	4	56	2	74
4	山梨学院	15	7	59	1	74
5	開成	14	8	55	3	69
6	聖心女子学院	16	6	50	7	66
7	麻布	12	10	54	5	66
8	市川学園	17	5	45	10	62
9	灘	11	11	47	9	58
10	城北	10	12	47	8	57
11	海城	20	3	33	11	53
12	大妻	13	9	32	12	45



砂金掘り大会・砂金甲子園のようすをまとめた動画を当館公式 YouTube で公開しています。

砂金掘りを愛する参加者たちの熱い試合を動画でお楽しみください。 動画はこちらから▶

■活動報告06 7/26㊤ 総有料入館者数55万人を突破！

中高生による熱戦が繰り上げられた砂金甲子園の日、55万人目となる入館者をお迎えしました。記念入館者となったのは東京都からお越しの和田さん親子。前日の砂金掘り大会にもエントリーし、この日は砂金採り体験のため来館くださいました。和田さんは突然の知らせに驚いていましたが、信藤館長から記念品が贈られ和やかにお祝いすることができました。



■活動報告07 7/20㊤㊤～8/28㊤ 帝京大学やまなし伝統工芸館とコラボスタンプラリーを実施

このイベントは当館での展示観覧と工芸館での貴石画づくりを行い、各館のオリジナルスタンプを押印した方に湯之奥金山の金鉱石と県内産の水晶をプレゼントするもので、先着100人のコラボ企画です。期間中はお子さんを中心に参加がみられ、景品を手にとると嬉しそうに眺めていました。

■活動報告08 8/29㊤ ゆるキャン△展関連イベント

山梨県立博物館で開催された「ゆるキャン△と山梨」展。身延町がモデル地になっていることから、関連イベントとして旧下部小・中学校周辺の散策会が行われました。散策会では、案内役のひとりとして当館の信藤館長が常葉の歴史や石造物についてガイドしました。



■活動報告09 9/4㊤ 金沢小学校にて出前授業

長野県茅野市立金沢小学校より依頼を受け、当館の小松学芸員が出前授業を行いました。金沢小学校は金鶏金山の麓、金山の歴史が息づく場所にあります。10月の音楽会で金鶏金山をテーマにしたオペレッタを子どもたちが演じる



にあたり、事前学習会として行いました。前半は金山における鉱山作業やその歴史について座学で学習し、後半では簡易版の砂金採りセットで「汰り分け」を実体験しました。

子どもたちからは「オペレッタで出てくる作業のようすがよくわかった」、「金山についてもっと知りたいと思った」などの感想が伺え、良い学習の時間としていただけたようです。

■もーん父さんトピックス

☆7/18㊤ いいフェス 2026

道の駅富士川(富士川町)で開催されたイベントで、もーん父さんが博物館をPRしました。駅長を務める山梨住みます芸人の いい そうたろう さんが中心となったイベントで、県内メディアでもおなじみ世間知らズのお二人やDJ DEKKAさんなども出演し、イベントは大盛況。県内外からもーん父さんに会いにきてくれた方もおり、たくさんの人と触れ合うことができました。

